

持続的成長のためのCSR活動

健康で豊かな社会

安定かつ迅速な供給・検査体制の強化

責任ある医療サービス事業者として、高品質の製品・サービスを安定的かつ迅速に顧客に提供することが重要な使命であり、設計や原材料調達から生産・検査、物流に至るバリューチェーン全体の強靭性を高める。

供給・検査体制強化の取り組み

みらかグループでは、さまざまな事態に対応するため、事業継続計画(BCP※)への取り組みを進めています。調達では、原材料が調達できなくなることで検査が滞るリスクを低減すべく、自社購買や調達の分散を適切に行える体制構築を目指しています。

また、エスアールエルでは迅速性の観点から、全国にあるサテライトラボの活用により医療機関のご要望に合わせた検査結果のフィードバックを行っています。検体を八王子ラボに集約していた体制では、結果が届くまでに2~3日かかっていましたが、サテライトラボでは、検査結果を即日で提出することも可能となっています。さらに、検査時間の短時間化を実現する試薬の研究開発に取り組むなど、今後も安定した品質とスピードの両面を満たすことができるよう、さらなる改善を進めていきます。

※BCP : Business Continuity Plan



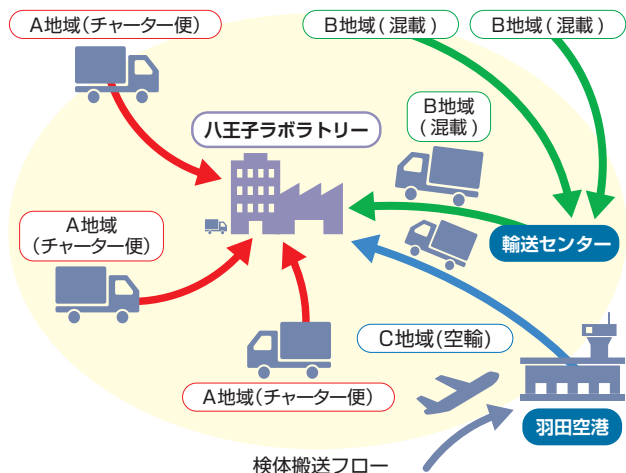
SRL Advanced Lab. Azabu



世田谷ラボラトリー

物流の最適化で検体の早着を実現

医療機関からは受託臨床検査業において、検査結果が1日でも早く手元に届くことを望まれています。また、検査を行うラボでは、検体の受け入れ時間が重なることで業務の遅延が発生してしまいます。そこで、エスアールエルでは検体早着化活動に取り組み、夜7時から明け方6時までの受け入れに対して、検体が集中しないよう、さまざまな経路を設定し状況に合わせた輸送を選択しています。また、搬送の過程で、大雪や台風といった自然災害や輸送機トラブルなど突然の遅延が発生した場合でも、状況に合わせた柔軟な輸送を行っています。



ITを活用したオペレーションシステム

富士レビオでは、オペレーション本部で使用開始した「需給管理システム」や「生産計画システム」、さらに本年度導入を予定している「製造実行システム」などITシステムの開発・導入により、生産体制の効率化を進めました。今後は、本システム上に需給管理の精度向上、需要変動により迅速に対応できる体制を構築していきます。

